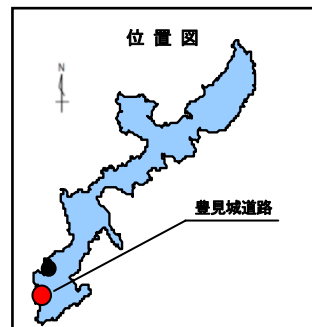


沖縄西海岸道路 一般国道 331 号 豊見城道路^{とみぐすく}
『避難階段の整備により災害時の避難がよりスムーズに！』
～地域住民や道路利用者の津波被害軽減のため～

■避難階段・高架橋を活用した避難訓練の開催

- ①日 時：平成28年3月30日（水） 午前10時
- ②場 所：豊見城市与根（豊見城道路・与根高架橋）
- ③内 容：「津波時における緊急避難場所の使用に関する協定書」の締結式および地元住民と津波を想定した避難訓練を実施します。
（※午前10時30分～ 豊見城道路4車線開通。）



■沖縄西海岸道路 一般国道 331 号 豊見城道路^{とみぐすく}の概要

- ①路 線 名：沖縄西海岸道路 一般国道 331 号 豊見城道路^{とみぐすく}
- ②事業概要：沖縄西海岸道路の一部を構成する道路として、国道 331 号の交通渋滞緩和や、那覇港・那覇空港へのアクセス向上による物流支援、更には南部地域にある観光地へのアクセス向上による観光支援等、南部地域の発展に寄与する道路です。

■豊見城市、南部国道事務所による協定書締結について^{とみぐすく}

H23.3.11 の東日本大震災では津波により多くの被害が発生しましたが、周辺よりも高い位置にある道路が、住民の避難場所となった事例もあることから、津波発生時の避難場所としての道路の役割も重要です。そのような背景を踏まえ、豊見城市と南部国道事務所では、大規模災害が発生した場合でも、市民の生命を守るために避難階段を利用して高架橋に避難することができるように協定書を締結します。



【問い合わせ先】

豊見城市役所 総務課長 翁長 卓司^{おなが たかし}
総務課 渡慶次 祐^{とけし ゆう}

電 話：098-850-0024（代表） FAX：098-850-5343

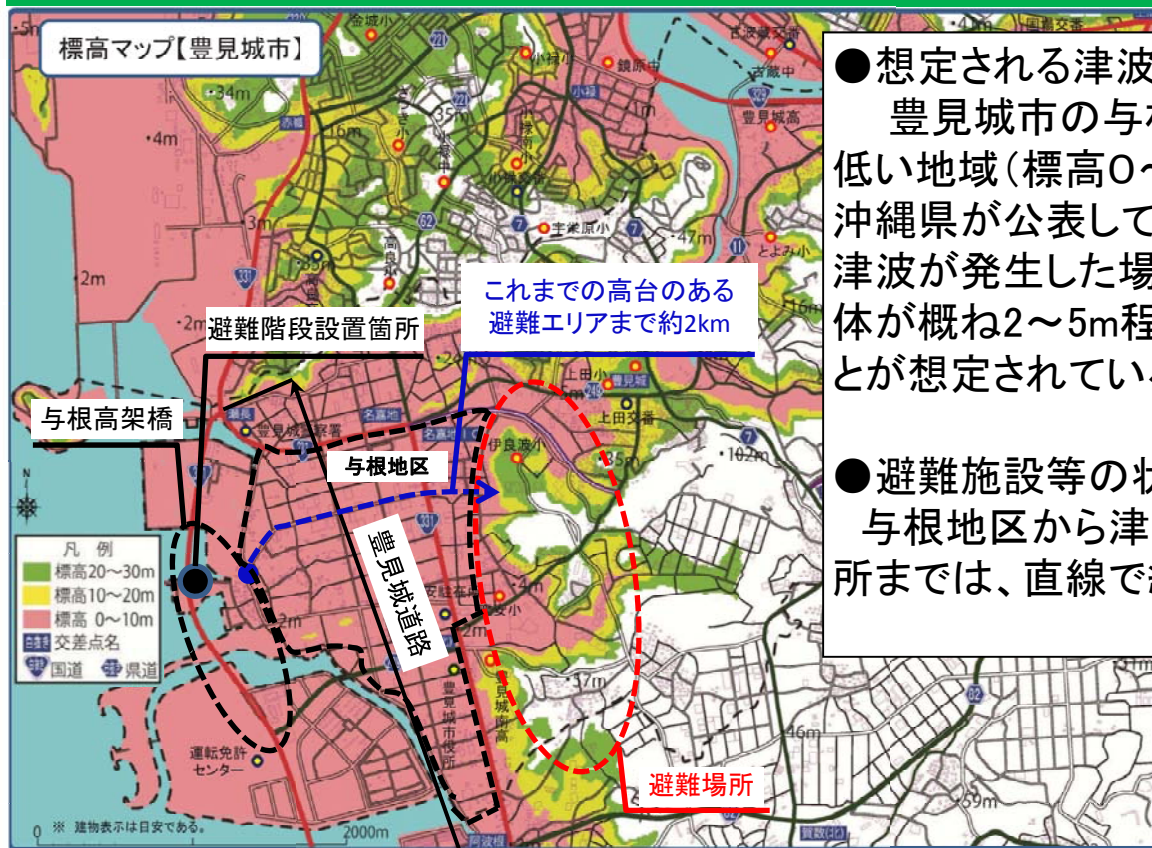
ホームページ：<http://www.city.tomigusuku.okinawa.jp/>

沖縄総合事務局 南部国道事務所 副所長 上原 啓文^{うえはら ひろふみ}（内線204）
工務課長 那覇 出^{な は いずる}（内線411）

電 話：098-861-2336（代表） FAX：098-861-2454

ホームページ：<http://www.dc.ogb.go.jp/nankoku/>

沖縄西海岸道路 一般国道331号 豊見城道路 『避難階段の整備により災害時の避難がよりスムーズに！』 ～地域住民や道路利用者の津波被害軽減のため～



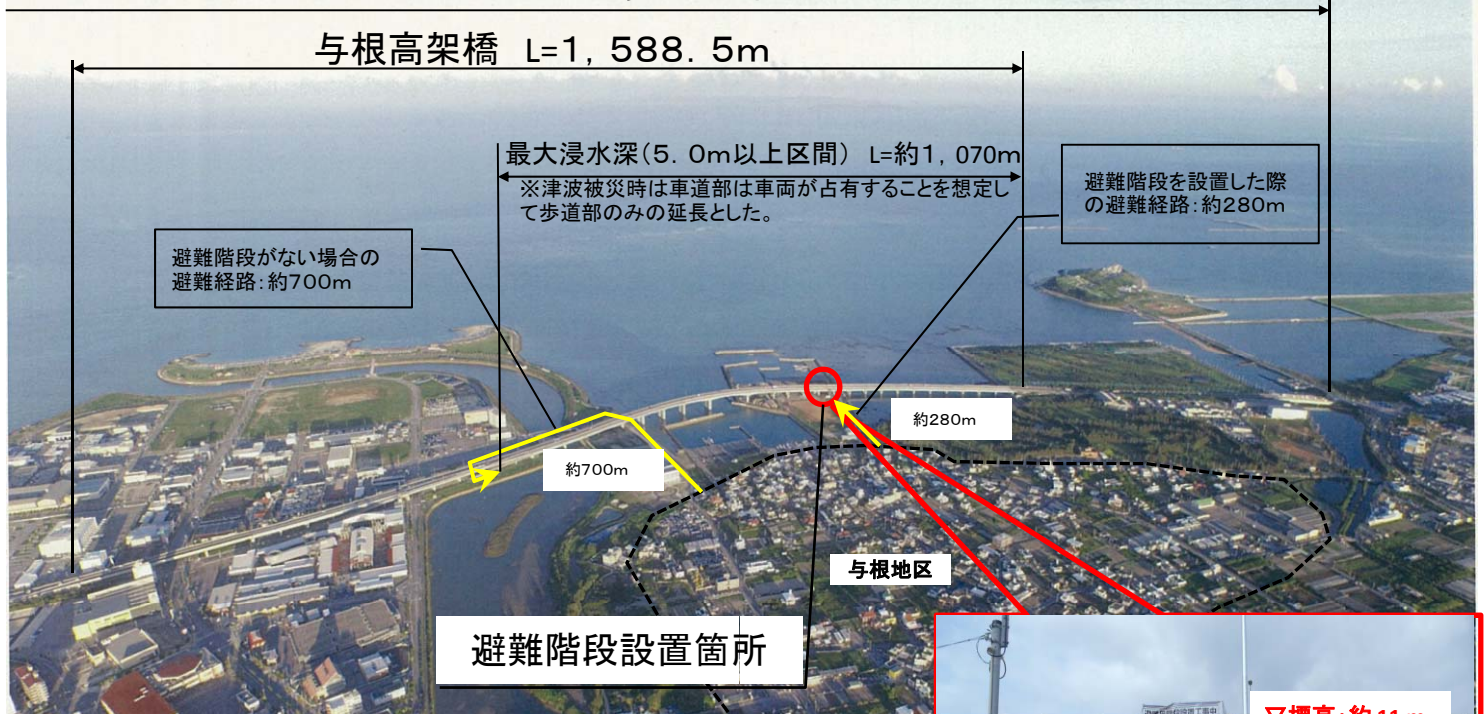
●想定される津波災害

豊見城市の与根地区は標高の低い地域(標高0～10m)であり、沖縄県が公表している最大規模の津波が発生した場合、与根地区全体が概ね2～5m程度が浸水することが想定されている。

●避難施設等の状況

与根地区から津波災害の避難場所までは、直線で約2.0km

豊見城道路



●避難階段を与根高架橋に設置することにより一時避難場所へのアクセス性を向上、津波災害時の市民の安全確保に貢献する。
【与根高架橋のうち最大浸水深より高い区間(5.0m以上)は約1,070m】

●津波避難ビル等に係るガイドラインによると、受入れ可能な空間は1m²/人のため、与根高架橋には、約6,420人の一時避難が可能となる。
【一時避難可能面積=1,070m×3m(歩道幅員)×2(両側歩道)】

